

(様式第1号)

平成30年10月30日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領域名： 福祉用具と住環境に関する領域

科目名： 福祉用具と住環境

単位数： 2単位

認証申請する研修の名称： 認定介護福祉士養成研修

団体名： 一般社団法人静岡県介護福祉士会

団体事務所の所在地： 〒420-0856

静岡県静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館4階

電話： 054-253-0818

FAX： 054-253-0829

E-mail： shizukai@cy.tnc.ne.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者： 一般社団法人静岡県介護福祉士会 

申請責任者： 会長 及川 ゆりこ

記

○認定介護福祉士研修認証申請書（別紙1～3）

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙1) 認定介護福祉士研修認証

※申請受付番号 _____

(※は記入しないでください)

認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	平成30年 10月 30日
申請団体名	一般社団法人 静岡県介護福祉士会
申請団体代表者氏名	会長 及川 ゆりこ
申請責任者職名	認定介護福祉士養成研修担当 理事
申請責任者氏名	水野 公智
団体住所	〒420-0856 静岡県静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館4階
同 Tel・Fax	Tel : (054)-(253)-(0818)
メールアドレス	Fax : (054)-(253)-(0829)
	E-mail : shizukai@cy.tnc.ne.jp
申請対象の領域	領域名 : 福祉用具と住環境に関する領域
科目名 (単位数)	科目名 : 福祉用具と住環境 (2単位)
申請する研修名	認定介護福祉士養成研修
研修認証実績	年 認証番号 ()
	年 認証番号 ()
	年 認証番号 ()
その他特記事項	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	福祉用具と住環境に関する領域	
科目名	福祉用具と住環境	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> 福祉用具に関する知識を習得して支援に活用することができるようにする 住環境の知識を習得して家族や利用者に改修に関する提案ができるようにする 	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 福祉用具に関する基礎的な知識を習得し、支援に活用できる 介護場面に応じて、福祉用具等を選択し、それらを活用した支援技術を習得し、実践できる 住環境に関する基本的な知識を習得し、支援に活用できる 在宅や施設を問わず、利用者の生活の場となる住環境を評価し、介護場面に応じて改善を提案することができる 	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> ○介護場面（移動・移乗、睡眠、起居、排せつ、入浴、食事、コミュニケーション等）に応じた適切な福祉用具の選定や住環境の整備 ○福祉用具・生活支援機器・義肢装具・自助具などの種類と機能 ○利用者の障害の程度による機器の選定方法と、福祉用具を活用する際のリスクの理解 ○利用者の住環境の評価 ○利用者が自立生活を送るための障害の状況に応じた住環境の課題と対策 	<p>福祉用具</p> <ol style="list-style-type: none"> 福祉用具の理解 <ul style="list-style-type: none"> 定義と歴史の理解 福祉用具の分類と供給システム(2時間) 福祉用具の適応 <ul style="list-style-type: none"> 福祉用具選定のためのアセスメント 福祉用具導入の流れ(2時間) 介護場面に応じた適切な福祉用具の選定 <ul style="list-style-type: none"> 移動関連用具、ベッド、移乗関連用具、排せつ関連用具、入浴関連用具、義肢、装具、自助具、 コミュニケーション関連用具、介護ロボット(4時間) 福祉用具のリスクマネジメント <ul style="list-style-type: none"> 事故の発生状況(事故・ヒヤリハット報告が意味するもの)(2時間) 疾患別福祉用具の利用の実際 <ul style="list-style-type: none"> 脊髄損傷、脳血管障害、関節リュウマチ、進行性疾患、脳性麻痺、ほか)(4時間) シーティング <ul style="list-style-type: none"> 耐圧分散と、福祉用具の使用(3時間) <p>住環境</p> <p>事前学習</p> <p>自職場の環境を説明(写真を用いる)する。また、</p> <p>自職場の環境(利用者の居室や、施設の級友スペース、在宅サービスにおいては、利用者の自宅)を改善するための方策を考え、改善前と改善後の写真を撮り、説明資料を作成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 住宅の機能 <ul style="list-style-type: none"> 住宅の機能、日本住宅の特徴(手すり、段差、床材、建具、スペースなど) 空間のスケール、家具、温熱環境、色彩・イン

	<p>テリアなどの視点で考える。(3時間)</p> <p>8. 環境整備としての住宅改修 住環境の整備の現状と課題 住宅改修の実際と課題 (4時間)</p> <p>9. 住環境の評価 自職場の環境の評価と改善 (4時間)</p> <p>10. 障害(疾患)別住宅改修の留意点 (頸髄損傷、脳血管障害、関節リュウマチ、進行性疾患、脳性麻痺)</p> <p>11. 理解度テスト (10と併せて2時間)</p> <p>○事後課題 事前課題で取り上げた利用者の環境について、その環境を改善または維持する計画を作成する</p>
研修方法	<p>■集合研修 □課題学習</p> <p>○集合研修講義と演習を組み合わせで行う。 評価は担当講師が行う。</p>
研修時間	30時間 (集合研修 30時間)
修了要件	<p>○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻又は早退について30分を上限として認める。(レポート課題あり)</p> <p>○修了評価として行う筆記試験(50問程度)において、A～C評価(100点満点中60点以上)であること。D評価(59点以下)の場合は、再試験(本試験同様とする)を行い、A～C評価とならなければならない。複数回の受験を可能とする。</p>
講師要件 (講師の選定基準)	<ul style="list-style-type: none"> ・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験があること ・日常業務で介護職員と共に働いた経験があり、福祉用具・福祉住環境の知見のある方(リハビリテーション専門職(PT・OT・ST)、リハビリテーション工学技師、義肢装具士、福祉住環境コーディネーター1級以上)が望ましい ・補助者についても当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者
(2)受講者について	
受講対象 (受講要件)	単位取得できるのは介護福祉士資格を有するものであること。
修了評価	筆記試験(50問)により行い、100点～80点をA評価、79点～70点をB評価、69点～60点をC評価、59点以下をD評価とする。A～C評価(100点満点中60点以上)で修了とする。D評価(59点以下)の場合は、再試験(本試験同様とする)を行い、A～C評価とならなければならない。複数回の受験を可能とする。
(3)研修の環境条件	
定員 (講師の配置基準)	40名(福祉用具講師1名、住環境講師1名 両分野を担当できる講師が担当)演習時、20名の受講生に対してファシリテーターを1名配置する。
開催場所 (都道府県)	静岡県総合社会福祉会館シズウェル(静岡県)

コマシラバス

1日目【10時間】

本科目に関しては1時間を45分換算とする。

科目名	時間		内容
福祉用具の理解	9:30~11:00	90	<ul style="list-style-type: none"> 福祉用具の定義、歴史の理解（講義） 福祉用具の分類と供給システム 障害者自立支援法、介護保険法、日常生活用具給付等
休憩	11:00~11:10		
福祉用具の適用	11:10~12:40	90	<ul style="list-style-type: none"> 福祉用具選定のためのアセスメント アセスメントの手順（講義） 福祉用具導入の流れ（講義・演習） ニーズ把握から評価まで
昼食休憩	12:40~13:40		
福祉用具の選定	13:40~16:40	180	<ul style="list-style-type: none"> 介護場面に応じた適切な福祉用具の選定 移動・移乗・排泄・入浴等の介護場面に応じた用具の選定（講義・演習）
休憩	16:40~16:50		
福祉用具のリスクマネジメント	16:50~18:20	90	<ul style="list-style-type: none"> 事故の発生状況の理解 (事故報告書・ヒヤリハット報告の状況)（講義・演習）

2日目【10時間】

科目名	時間		内容
疾患別福祉用具の利用の実際	9:30~12:30	180	<ul style="list-style-type: none"> 疾患別福祉用具の利用 脊髄損傷、脳血管障害、関節リュウマチ、進行性疾患、脳性麻痺、ほか）（講義） 実際の用具の使用（演習）
昼食休憩	12:30~13:30		
シーティング	13:30~15:45	135	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢と体圧分散（講義） 体圧分散と福祉用具（シーティング）（講義・演習） 臥位での耐圧分散と、座位での体圧分散 使用する福祉用具及びシーティングの実際
休憩	15:45~15:55		
住環境 住環境の評価	15:55~17:25	135	<ul style="list-style-type: none"> 自職場の環境の評価と改善 事前課題を使ったプレゼンテーションとディスカッション 自職場の環境改善計画の作成 (講義・演習)

3日目【10時間】

科目名	時間		内容
住宅の機能	9:30～11:45	135	・住宅の機能と日本住宅の特徴 (手すり、段差、床材、建具、スペースなど)、空間のスケール、家具、温熱環境、色彩・インテリアなどの視点で考える。(講義・演習)
休憩	11:45～11:55		
住環境の評価	11:55～12:40	45	・自職場の環境の評価と改善 自職場の環境改善計画のプレゼンテーション 計画書の修正等(演習)
昼食休憩	12:40～13:50		
環境整備としての住宅改修	13:50～16:50	180	・住環境の整備の現状と課題 住宅改修の実際と課題 事例をもとにグループディスカッション (講義・演習)
休憩	16:50～17:00		
住宅改修の留意点 理解度チェック	17:00～18:30	90	・障害(疾患)別住宅改修の留意点(講義) (頸髄損傷、脳血管障害、関節リュウマチ、進行性疾患、脳性麻痺) ・理解度テスト・まとめ

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1)研修の実施予定	
実施日	①
	②
	③
開催場所 (会場)	① 静岡県総合社会福祉会館 (静岡市葵区駿府町 1-70)
	② 静岡県総合社会福祉会館 (静岡市葵区駿府町 1-70)
	③
(2)講師	
担当、氏名及び略歴	<p>○福祉用具と住環境 村岡健史 氏 常葉大学浜松キャンパス保健医療学部 講師</p> <p>学歴 2002年 常葉学園医療専門学校 作業療法学科 卒業 2008年 九州保健福祉大学大学院 修了 (保健科学修士) 2016年 国際医療福祉大学大学院 修了 (保健医療学博士)</p> <p>その他 2002年 作業療法士免許取得 2005年 福祉住環境コーディネーター2級 2009年 福祉用具プランナー 2017年 ISO/TC173/WG13 リフト国際標準分科会 委員</p> <p>職務・現場経験 2002年4月-2008年3月 常葉学園医療専門学校 作業療法学科 教員 常葉リハビリテーション病院非常勤 2008年4月-2009年3月 浜松大学 ビジネスデザイン学部 助教 社会福祉法人公友会非常勤 2009年4月-2013年3月 浜松大学 保健医療学部 作業療法学科 助教 2013年4月-2016年3月 常葉大学 保健医療学部 作業療法学科 助教 2016年4月 - 現在 常葉大学 保健医療学部 作業療法学科 講師 2017年4月-現在 聖隷事業団いなさ愛光園リハビリアドバイザー</p>

	<p>2018年4月－現在 浜松南病院リハビリアドバイザー</p> <p>講師経験（担当科目） 浜松大学（シーティングセラピー：作業療法学科4年後期） 浜松大学（福祉住環境論：作業療法学科3年前期） 常葉大学（福祉住環境論：作業療法学科3年前期） 常葉大学（福祉用具学：作業療法学科4年前期） 主な著書： 評価プロセス X リハプログラム PT/OT リハ演習メソッド．診断と治療社．2016（分担執筆）</p> <p>担当する講義等 事後課題評価 村岡健史氏 経歴等は同上</p>
(3)実施体制	
<p>研修の企画運営の組織 （担当部局・人員）</p>	<p>認定介護福祉士養成研修実行委員会（非常勤：6名） 委員会事務局（担当事務局員：常勤2名・非常勤2名）</p> <p>認定介護福祉士養成研修委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認し、担当講師と科目間の連間や留意点について共有する。またできる限り研修実行委委員会の委員が研修に参加・見学し、研修内容を評価するとともに、随時研修の見直しを図る。</p>
<p>研修の企画運営に関する諸規程</p>	<p>静岡県介護福祉士会の定款、研修委員会の諸規程に準ずる。</p>
<p>研修管理責任者職名</p>	<p>会長</p>
<p>研修管理責任者氏名</p>	<p>及川 ゆりこ</p>
<p>機構問合先部署</p>	<p>静岡県介護福祉士会事務局</p>
<p>機構問合先担当者氏名</p>	<p>平野 美智子</p>
<p>機構問合先電話番号/FAX</p>	<p>054-253-0818 / 054-253-0829</p>
<p>機構問合先 e-mail アドレス</p>	<p>shizukai@cy.tnc.ne.jp</p>
<p>受講問合先部署</p>	<p>静岡県介護福祉士会事務局</p>
<p>受講問合先担当者氏名</p>	<p>平野 美智子</p>

受講問合せ電話番号/FAX	054-253-0818 / 054-253-0829
受講問合せ e-mail アドレス	shizukai@cy.tnc.ne.jp
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	静岡県介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	<ul style="list-style-type: none"> ○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○データ保存期間は最低 10 年間とし、その後は、紙媒体で保管する。 ○個人情報の取り扱いにおいては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	各科目を修了した時点でその科目の修了証明書を発行し、全課程を修了したのものには、全課程を修了した証明書を発行する。
管理責任者氏名	及川 ゆりこ (会長)
管理担当者氏名	平野 美智子 (事務局長)